

進路通信

(全校配布) 亀山中学校 進路指導部

4月18日 No.1

皆さんが、新年度になり初めて登校してから10日余りが過ぎました。新しい環境や生活には慣れてきましたか。特に3年生は、ついに卒業後の進路について真剣に考えていく時期を迎えました。希望の進路へ進むことができるかどうかと不安な気持ちを抱いている人も多いのではないのでしょうか。

「進路について考える」ということは、希望の学校に進学できるかどうかという事だけを意味するものではありません。将来において“自立して”、“みずからの社会での役割を果たし”ながら、“自己実現”ができるように、自分のこれからの生き方について考えることを意味しています。

誰もが未来のことを知ることはできません。そのため、自分の将来について不安な気持ちになることもあると思います。しかし、将来について悩み考えた経験は、どのような進路に進むことになったとしても、みなさんの人生の貴重な糧となる事でしょう。

決して一人だけで、悩む必要はありません。仲間と協力し、励まし合いながら自分たちの進路を切り拓いていきましょう。私たちも、みなさんの支えになりたいと考えています。

共に頑張っていきましょう。

生徒のみなさんは、自分自身の適性や興味を知り、卒業後の進路をどうするかをよく考えて、自分の生活を見直しましょう。基本的な生活習慣が身についている事、当たり前なことが当たり前に行える生活ができている事が大切です。具体的には以下の通りです。

- ・学校や社会のルールを守れている。
- ・授業は積極的に受けている。
- ・あいさつや正しい言葉づかいができている。
- ・家庭学習を継続的に行っている。
- ・規則正しい生活を送っている。
- ・提出物の期限を守っている。
- ・掃除や学級活動等に真面目に取り組んでいる。

意識で行動が変わります。また「自分の人生をどのように生きていくか」ということは、大きな課題です。将来を見通して、生き甲斐を見出すことのできる人生設計を描き、その実現に向けて一步一步進む努力をしましょう。そして、自分自身で目標を決めて取り組んでいきましょう。

推薦制度に関する校内基準に関して

高等学校側の要項を満たし、中学校長の推薦を受けたものに対しておこなわれる「推薦受験」もあります。私立高等学校や高等専門学校において実施され、県立高等学校では実施されません。推薦入試に際しては、中学校長の「推薦書」の添付、すなわち「学校推薦」が必要になります。そのために以下の3点が必要になります。

I 希望高等学校に対する強い目的意識を持っていること。

多くの高等学校・学科のある中で、なぜその高等学校・学科でなくてはならないと考えて選んだか。その高等学校・学科へ入学して何をしたいのか。卒業後どういう進路に進みたいのか、という点について自分の考えをしっかりと持っていること。

II 入学後、様々な場面で意欲的に取り組めること。

中学校の学校生活を見たときに、学習活動・部活動・生徒会活動等に意欲的に取り組む姿勢が見られること。

III 入学後、高等学校の学習活動を通し、自分の学力を伸ばすための基礎的な学力を有していること。

学校によっては1年時からの成績などが判断材料になる場合があります。

例：鈴鹿工業高等専門学校 推薦出願資格「中学3年間の5段階評価の合計が110以上」

3 年 生 の 皆 さ ん へ

進路通信で提供する情報

- ・進路に関する当面の予定など
- ・高校生活入門講座（高校の体験入学）に関するお知らせ
- ・奨学金に関するお知らせ
- ・入試関連情報

亀山中学校へ届いた情報に関しては、1棟2階廊下の進路スペースへの掲示や本通信で皆さんに提供します。しかし、進路に関する情報はそれらが全てではありません。「〇〇〇について知りたい」といったことがあれば、遠慮なく聞いてください。皆さんに希望に添えるように努めます。

保護者の皆様におかれましても、ご家庭において進路説明会で配布します資料をじっくり見直していただく中で、お子様が目標をしっかりともち、一日一日を充実したものとなるようご支援をお願いします。

今後の予定

- 4月19日（火） 全国学力学習状況調査
- 4月27日（水） 修学旅行説明会、第1回進路説明会
- 5月 6日（金） 第1回進路希望調査 提出締切日（4月27日配布）
- 5月12日（木） 中間テスト 1日目
- 5月13日（金） 中間テスト 2日目
- 6月上旬 第1回実力テスト（日程が決まりましたら改めて連絡します）

※ 実力テストの結果は進路指導を行う上で重要な基礎データとなります。定期テストだけではなく実力テストに向けての学習も早めに計画的に行いましょう。

進路選択において大切にしてほしいこと

① 質問や相談してください。

皆さんの進路については、3年生の教員を中心として学校全体で、たくさんの目を見て、丁寧にバックアップしていきます。悩む事もあると思います。そのような時は遠慮せずに担任の先生に尋ねましょう。

② 正確な情報をリアルタイムで手に入れよう。

「進路通信」や「進路に関する高等学校などからの多数の案内や資料」を、皆さんに配布します。必ず自分で読んだ上で、保護者の方にも見せましょう。その他にも自分から積極的に、興味のある学校のホームページを確認したり、高校生活入門講座などの学校見学会に参加したりしましょう。詳しくは進路通信で連絡していきます。

③ 進路に向き合うことで、社会に出て大切なことを学びましょう。

どのような人材を社会や高校は求めているのでしょうか。学力をつけている事はもちろん大切ですが、それ以外にもいろいろな力をつけていくことが必要です。例えば、提出期限や時間を守る事、あいさつや正しい言葉づかいをする事などです。出願の締め切りに遅れると、高校や会社の試験が受験できない事があります。進路を決定していくときに慌てることのないように、今から日常生活を意識していきましょう。